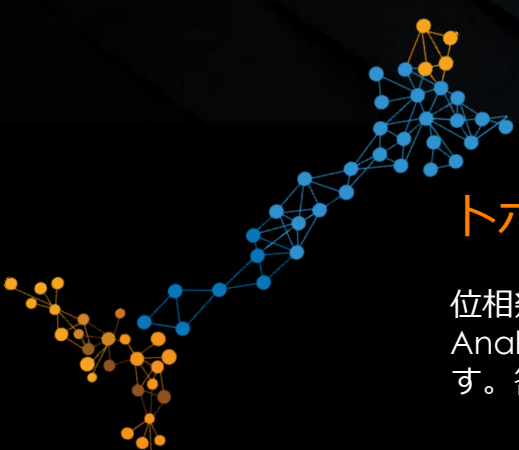
M|B|S|D. × AYASDI

AYASDI Machine Intelligence Platform による攻撃予兆・不正の検知

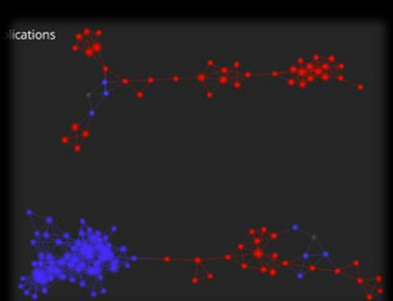


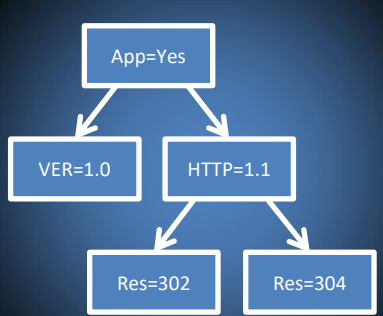
トポロジーデータ分析を用いた構造解析

位相幾何学の応用であるトポロジーデータ分析（Topological Data Analysis, TDA）を用いて、データの本質的な構造を自動的に解析します。答えありきではなく、まっさらな状態から真実を明らかにします。

あらゆるログの中から、攻撃予兆や不正を検出

膨大なログの中から、攻撃の予兆や不正に多くみられる異常なパターンを自動で検出します。数10種類の数学モデル・機械学習を組み合わせることで、より異常なパターンを検出可能。ログの形式は問いません。





特徴、ルール、機械学習モデルを自動で生成

検出された異常パターンの特徴を、自動で抽出可能。又、抽出されたパターンを基に、異常を識別するためのルールや機械学習モデルの自動生成も可能です。生成したモデルは他システムでも利用できます。

グローバル金融機関向けに、様々なユースケースで多数の実績あり。

AYASDI PLATFORM

マネーロンダリング対策

既存システムでの課題
- 月間8万件のアラートの内、97.99%が誤検知によるもの
- 7,000人がシステム対応に奔走

Ayasdi導入による改善結果
- 誤検知率を26%改善
- オペレーション改善による$56M(62億円)のコスト削減

サイバーセキュリティ

既存システムでの課題
- 数千万人ものユーザーアクセス
- ルールやノウハウで検知できない新たな攻撃の登場

Ayasdi導入による改善結果
- SOCが見落としていた新たな攻撃パターン＝異常値を検出
- オペレーションを改善

ストレステスト

既存システムでの課題
- 様々なビッグデータ分析を用いたにも関わらず、CCARストレステストに2回失敗

Ayasdi導入による改善結果
- 透明性の高いモデルを完成
- 同モデルが評価され、同行の市場価値が$13B(1.4兆円)に拡大

セグメンテーション

既存システムでの課題
- 顧客層の多様化と金融商品の複雑化に伴う商品提案の
- ノウハウ頼みの提案

Ayasdi導入による改善結果
- 顧客の類似性に基づくセグメンテーションの自動化
- 価格見直しによる収益性改善

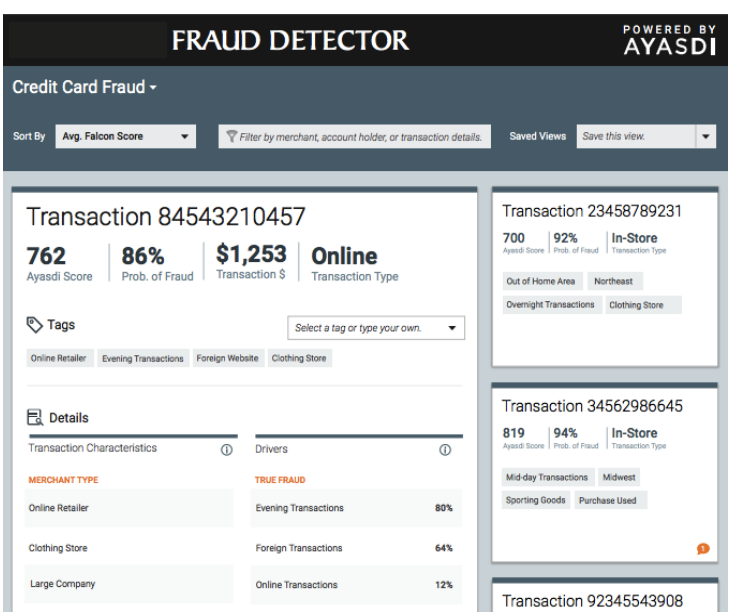
事例紹介：不正モニタリング

既存システムでの課題

- 某大手金融企業は、グローバル市場向けのルールベースの不正検知モデルを用いていたが、誤検知（False Positive）が非常に多く、改善を試みるも失敗が続いていた
- 特に、同社の不正検知モデルは、ローカル市場特有の行動を反映しておらず、市場ごとの違いが考慮されていなかった

Ayasdi導入による改善結果

- 600以上のパラメータを持つ百万行以上のトランザクションデータを徹底解析
- これまで気づくことのできなかった不正検知モデルのエラー箇所を発見
- 同エラーの発見を基に、ローカル市場特有の行動を加味した新たな不正検知モデルを完成
- 誤検知率を15%改善し、信頼性を22.6%改善



Ayasdiは、AIを超えた新たな知能で、データに隠された事実を発見します。

<お問い合わせ>
三井物産セキュアディレクション株式会社
IoTビッグデータ事業部
TEL：03-6673-9774
MAIL：iot@mbsd.jp

<サービス提供>
M|B|S|D.
三井物産セキュアディレクション株式会社
URL：http://www.mbsd.jp/